

高校生一日消防学校入校体験の概要

- 1 目的 児童、生徒に対する防災教育の一環として、高校生を対象に消防・救助・救急活動の体験訓練や災害発生時の緊急援助活動等が体験できる「一日消防学校」（宿泊体験入校）を実施し、将来の地域の安全安心に貢献できる人材の育成を目指すもの。
- 2 日時 平成28年10月1日（土）10：00から10月2日（日）11：30まで
- 3 場所 富山県広域消防防災センター・富山県消防学校
- 4 参加者 富山県内の男子高校生 8名
- 5 内容及び感想

○四季防災館の体験はいかがでしたか？

- ・水流や雨風、地震など日頃体験できないことを体験し、感心を持った
- ・雪崩の体験をしてみたい
- ・災害について、知識を持つことが大切だと思った。



○訓練礼式

- ・学校で習うよりも厳しかった。
- ・姿勢を維持するのが大変だった。
- ・足の角度を意識しながら、移動するのが難しかった。
- ・周りとの息を合わしたり、素早い動作が大切に思った。



○応急処置

- ・身の回りにあるもので、工夫すれば応急処置ができる。
- ・竹の棒2本と毛布で担架が作れた。
- ・布（三角巾）1枚で応急処置ができることにビックリした。
- ・丁寧にすることが大切だと思った。



○ホース延長訓練

- ・担いで移動したり、ホースを巻くのがすごく大変だった。
- ・なかなかまっすぐに伸ばせなかった。
- ・かけ声をかける回数が多かったので、緊張した。
- ・声を出すことで、協力して作業が出来ることがわかった。



○放水訓練

- ・ホースなどをしっかりと抱えたつもりでも、放水すると凄い水圧で押し戻されそうになった。
- ・安全に冷静に行動し、周りとのコミュニケーションが必要だと思いました。

○避難所作成、寝袋での睡眠

- ・ダンボールでも、個人空間を作ることが出来た。
- ・みんな、考えながら避難所を作るのが楽しかった。
- ・この生活が毎日だと思うと大変さが伝わった。
- ・初めての経験でした。

○自己紹介

- ・自信を持って、固くならないように話しました。
- ・みんな、同じような志で消防士になりたいと思っている。
- ・インターネットで調べてもわからない話や実際の現場の話を開けてよかった。

○消火体験・救助・救急体験

- ・装備が重くて、走りづらかった。
- ・消防車の中は、4人乗ると狭かった。
- ・本格的な訓練で、緊張した。
- ・知識やコミュニケーション、連携が大切だと学んだ。



○全体を通しての意見や感想

- ・人の命を助けると言うことは、それだけ責任と危険を伴うので、しっかりと行動することが大切だと思う。
- ・消防士の仕事は、規律よく、人として成長できるので、あらためて消防士になりたいと思った。
- ・一日だけでしたが、とても内容がしっかりとっていて、充実した消防学校体験でした。
- ・普通の人では経験できないことを沢山体験できたし、普段入れない場所にも入れたので、とてもいい機会になりました。
- ・充実した体験が出来、良かったです。
- ・ロープや消火活動など、他では出来ない体験が出来て、楽しかったです。